

CoinGecko年間レポート



2019年

Sponsored by

‘eToro’

目次

ファウンダーの見解 3

市場の動き 4

市場概観
ビットコイン vs 金
市場占有率

トップ5コインのリターン
ビットコイン概観
トップ30ランキング

取引所 & ステ이블コイン 11

仮想通貨取引所 - 現物 & デリバティブ
ステーブルコイン - 占有率 & 価格安定
買収

2020の見通し 18

分散金融 (DeFi)

予測: 期待されること
ブロックチェーン業界リーダーの多様な視点からの声

ビットコインに関する事実 23

ビットコインの10年を定義する数字

Stacking Satoshis (Sats)

2020 キーイベント 26

Ethereum 2.0 28

Eth 2.0とは? なぜ必要? Proof of Stake解説

分散金融 (DeFi) 33

なぜDeFiが重要か
全体の成長統計 (ETH, LN)

市場概観:

dApps by  37

マスターノード by  42

NFTs by  NonFungible.com 45

アナリスト:



Bobby Ong



Sze Jin



Kristian Kho



Daryl Lau



Darren Lau



Shu Min

ファウンダーの見解

2019年は仮想通貨業界にとって素晴らしい年でした！去年はビットコインが10年のマイルストーンを達成し、政治家からの注目も集め始めました。ブロックチェーンは7月のアメリカの上院公聴会でも議題の中心にあり、10月には中国の習近平国家主席に支持されました。

Facebookがリードする中、巨大テック企業もブロックチェーン技術に参入を始めています。FacebookはLibraという仮想通貨のローンチを発表し、世界中の中央銀行はどのようにブロックチェーンが現在の金融システムを改善できるか積極的に考えています。中国人民銀行は中央銀行が発行するデジタル通貨として最も先進的なプランを持っています。私たちがマネーと経済のコンセプトを再定義していく中で、2020年代も間違いなく多くの興奮を巻き起こすことでしょう。

2019年は特にビットコインにとって良い年になりました。3693ドルから7195ドルまで価格は95%上昇し、その他のトップ5仮想通貨の上昇を大きく上回りました。ビットコインへの退避が起こり、仮想通貨マーケットの基軸通貨のポジションがさらに確立され、ビットコインのトップ30仮想通貨内での市場占有率は56.3%から71.5%まで上昇しました。

さらに2019年には、仮想通貨デリバティブが人気となりました。多くの新しい、もしくは既存取引所がデリバティブ商品をローンチし、このトレンドは20年も続くと考えられています。去年CoinGeckoでは無期限スワップ、先物などの[仮想通貨デリバティブプロダクト](#)のカバーを開始しました。年末までに25の仮想通貨デリバティブ取引所が掲載されています。また、2019年には多くの取引所の偽装取引高に対する解決策として独自の[トラストスコア](#)をローンチし、CoinGecko上での取引所の評価基準を改善しました。

分散金融 (DeFi) スペースも大きな前進を見せ、新しいDeFiアプリのローンチを私たちも楽しみにしています。2020年もDeFiの成長は続く予想しますが、同時にスマートコントラクトのリスクについても意識されるべきでしょう。

私たちは2020年代がもたらす変化について非常に興奮しています。私たちはこの10年はブロックチェーン業界が成熟し、より多くのブロックチェーンプロダクトが一般浸透する10年だと考えています。CoinGeckoでは引き続きサービスの拡張や改善を進め、ユーザーにさらに大きな価値を提供し続けていきます。この10年があなたにとっても良いものになることを祈っています！



Bobby Ong
COO

TM Lee
CEO

仮想通貨業界のマクロ視点 市場の動き

2019年マーケット概観

+44.1%

時価総額の増加 in 2019

時価総額と取引高は2019年を通して上昇傾向でした。

時価総額はビットコイン価格が130万円を越えていった6月の後半に35兆円のピークを迎え、18兆円で今年を終えました。年始と比較して6兆円の増加です。

取引高は時価総額の増加のペースを大きく上回り、2019年を通して**600%程上昇しました。**

仮想通貨時価総額 & 取引高 in 2019



2019 トップ5コインのリターン

+20.6%

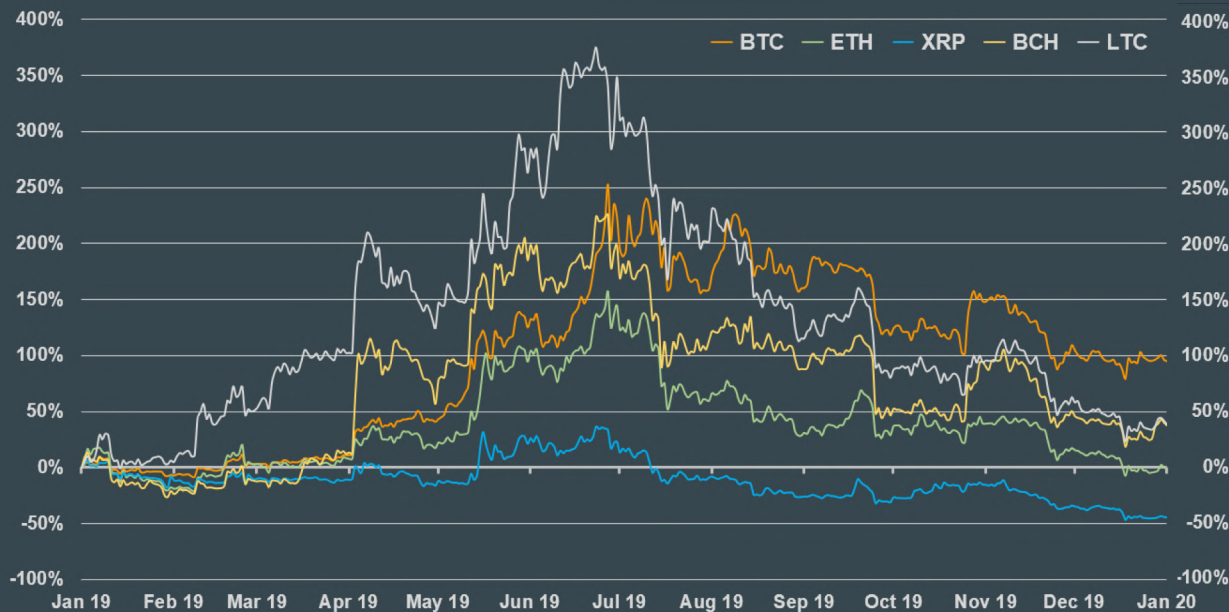
トップ5コインの平均リターン
in 2019

トップ5コインのうち*、ビットコインが**95%のリターン**を記録し、2019年で最高のパフォーマンスを見せました。

XRP (XRP)が2019年で最もパフォーマンスが悪く**45%のロス**となっています。

Bitcoin Cash (BCH)と Litecoin (LTC)は共に健闘し、**~40%のリターン**を見せました。一方Ethereum (ETH)は振るわず、2019年を**2%のロス**で終えています。

トップ5コイン 2019価格変動 (%)



 **+95%**

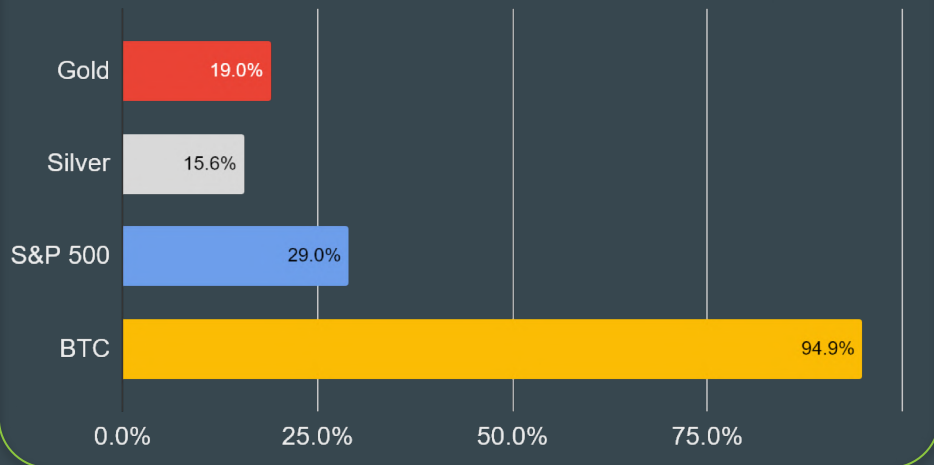
 **-2%**

 **-45%**

 **+38%**

 **+37%**

主要アセットのリターン率 in 2019



2019は投資家にとって素晴らしい年となり、様々なアセットクラスで利益を得ることが出来ました。

ビットコインは非常に価格の上下が激しいですが (2019年でも\$3,500から~\$13,000の間で変動)、2019年最もパフォーマンスが良かったアセットとなりました。

年間を通して見ると、ビットコインは **95%** の上昇を記録し、S&P 500 (**+29%**), Gold (**+19%**), Silver (**+16%**) などのパフォーマンスを大きく超えています。

2010 - 2019の10年間のパフォーマンス

グラフで表示することは上手く出来ませんでした...

シルバー 

~0.0%

\$1が\$1に

ゴールド 

+32.2%

\$1が\$1.32に

S&P 500 

+202.9%

\$1が\$2.03に

Bitcoin 

+9,000,000%

\$1が\$90,000に

ビットコインは2019年の最善の投資であっただけでなく、ビットコインは2010年代の最善の投資でもあります。2010年代の始めに1ドルをBTCに投資した場合、10年代の終わりには90,000ドルになっていたことになります。

2019年 Bitcoin 概観

+94.9%

BTC価格の上昇 in 2019

2019年を通じて Bitcoinは 13,000ドルまで駆け上がり、その後年末にかけて7000ドル位までゆっくり調整して行きました。

2019年を振り返ると、ビットコイン価格の動きは大部分ニュースに動かされていました。ビットコインや仮想通貨への直接の言及がないにも関わらず、中国の習近平国家主席のブロックチェーンの国家戦略宣言にビットコイン価格は大きく反応しました。

全体的には2019年はビットコインにとって非常に良い年でした。2018年の73%を超える下落市場の後に、100%に近いリターンを見せました。

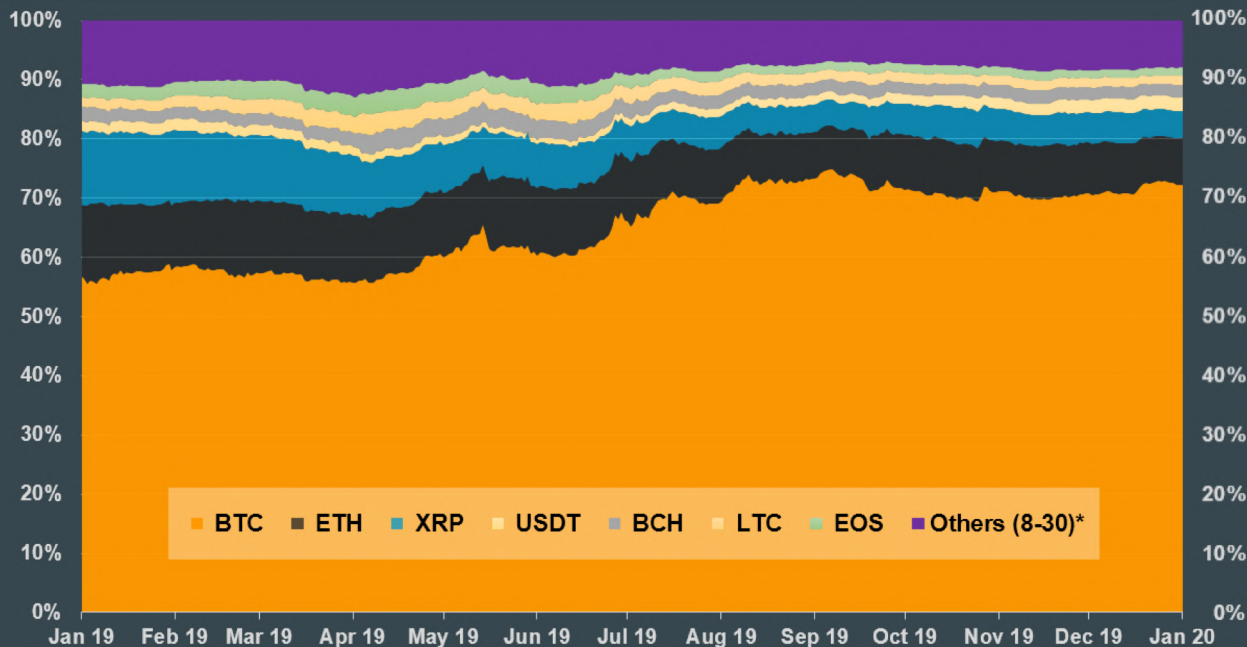


2019年の市場占有率

2019は間違いなくビットコインの年と言え、トップ30コイン内での市場占有率も56.3%から71.5%(+15.2%)まで上昇しました。

トップ30コインの内、XRPの占有率は12.5%から4.6%(-7.9%)まで落ち、最も大きな下落となりました。ETHも12.0%から7.7%(-4.3%)へとポジションを落としています。その他のコイン(トップ8-30)が下落率では3番目となり、10.6%から7.9%(-2.7%)まで占有率は低下しました。

USDTは2019年を6位からスタートし、4位で年を終えました。供給量の増加とその他のコインの市場規模の縮小が主な要因です。



2020
vs 2019



71.5%
(+15.2%)



7.73%
(-4.3%)



4.58%
(-7.9%)



2.35%
(+0.5%)



2.04%
(-0.2%)



1.44%
(-0.1%)



1.36%
(-0.9%)



7.89%*
(-2.7%)

2019年トップ30ランキング

#	Asset	Ticker	#	Asset	Ticker
1	 Bitcoin	BTC	16	 Monero	XMR
2	 Ethereum	ETH	17	 OKB	OKB
3	 XRP	XRP	18	 Huobi Token	HT
4	 Tether	USDT	19	 Chainlink	LINK
5	 Bitcoin Cash	BCH	20	 NEO	NEO
6	 Litecoin	LTC	21	 USD Coin	USDC
7	 EOS	EOS	22	 Ethereum Classic	ETC
8	 Binance Coin	BNB	23	 IOTA	MIOTA
9	 Bitcoin SV	BSV	24	 Crypto.Com Coin	CRO
10	 Cardano	ADA	25	 Dash	DASH
11	 Tezos	XTZ	26	 Vechain	VET
12	 Stellar	XLN	27	 Ontology	ONT
13	 TRON	TRX	28	 Maker	MKR
14	 Cosmos	ATOM	29	 NEM	XEM
15	 LEO Token	LEO	30	 Basic Attention Token	BAT



Binance Coin (BNB)

価格: \$13.70 (+125%)
時価総額: \$2.1B (+125%)

- 取引所の強力なパフォーマンスとトークンの焼却枚数の増加
- BNBのUtilityを向上させる新機能のローンチ(IEO, Binance Chain, DEX etc)



ChainLink (LINK)

価格: \$1.76 (+487%)
時価総額: \$643M (+490%)

- クリプトオラクルのローンチと普及
力強いネットワークの成長



LEO Token (LEO)

価格: \$0.82 (-23%)¹
時価総額: \$809M (-28%)

- 2019年最大のIEO, 1000億円以上を調達
- トークンの買い戻し



Crypto.com Chain (CRO)

価格: \$0.0034 (+62%)
時価総額: \$427M (+47%)

- 一貫的で強力なマーケティング活動
- 良いプロダクト提供



Basic Attention Token (BAT)

価格: \$0.18 (+38%)
時価総額: \$256M (+65%)

- Braveブラウザの改善とユーザーベースの成長
- MakerのマルチコラテラルDaiはBATのステークによるDAIの生成に対応



Huobi Token (HT)

価格: \$2.75 (+159%)²
時価総額: \$662M (+1476%)²

- 中国の強固な OTC市場
- 世界中に複数の法定通貨-仮想通貨取引所の開設

仮想通貨業界のマクロな視点 取引所 & ステ이블コイン

取引所-現物&デリバティブ

現物 vs デリバティブ on CoinGecko

2019年は仮想通貨デリバティブが盛り上がった年でした。一年でデリバティブ取引所の数は12倍以上になりました。多くのデリバティブプレイヤーは仮想通貨業界ですでに存在した主要な取引所(Binance, Kraken, Bitflyerなど)であることも興味深いです。新規プレイヤーの参加がリーダーのBitmexにどのような影響を与えるか注目です。

同時に、現物取引所も大きく成長しました。2019年だけでも130以上の取引所がCoinGeckoに追加されました。一方、数は増えたもののBinance、Coinbase、Bitfinex、Krakenなどの既存プレイヤーがリーダーのポジションを維持し、業界構造に大きな変化は見られませんでした。



デリバティブ取引所の追跡数

1 Jan '19 ^[2]
0

12x

1 Jan '20
25

現物取引所の追跡数

1 Jan '19
270

1.5x

1 Jan '20
400

取引所統計比較 (平均 Dec '19 vs Jan '19)

	取引高	プロダクト概要	首位取引所の2019年のパフォーマンス
 現物	- 一日平均6.5兆円以上の取引高 (+364%) (vs ~1.4兆円 19年1月) 400の取引所 (+150%) (vs 270 19年1月)	6,500以上の仮想通貨 (3,000以上追加in 2019) 63,732以上の取引ペア	 Binance 181の仮想通貨と594の取引ペア 19年12月の平均1日取引高1000億円以上 (+100%) (vs ~500億円 19年1月) - 平均修正取引高 \$1B ^[1]
 デリバティブ	1日平均2.6兆円以上の取引高 (+840%) ^[2] (vs ~2.5兆円 19年1月) 25の取引所	373以上の商品 204以上の異なるインデックス	 BitMEX 8の仮想通貨と21の無期限/先物商品 19年12月の平均1日取引高2000億円以上 (-25%) (vs ~2500億 19年1月) - Open Interest 1000億円 (+233%) (vs ~300億円 19年1月) ^[3]

[1] Refers to [CoinGecko Trust Score](#)

[2] [CoinGecko Derivatives](#) was launched in 2019

[3] Refers to BitMEX's Perpetuals Swaps and Futures products

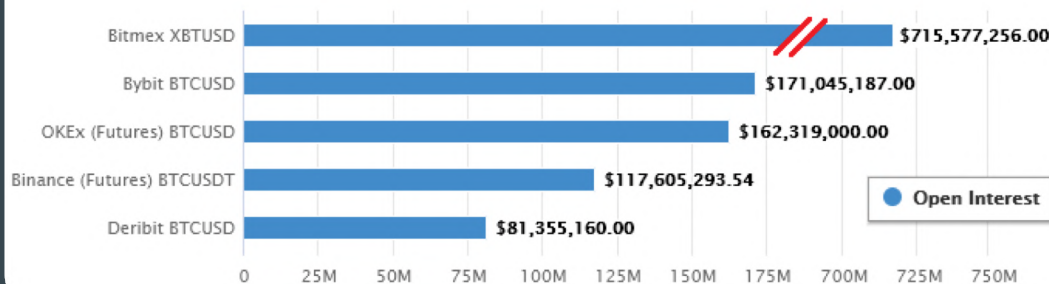
BTC Perpetual Swap - スター商品

仮想通貨のデリバティブ商品はBitMexのビットコイン (BTC) のPerpetual Swap (無期限契約) の提供により始まったとされます。

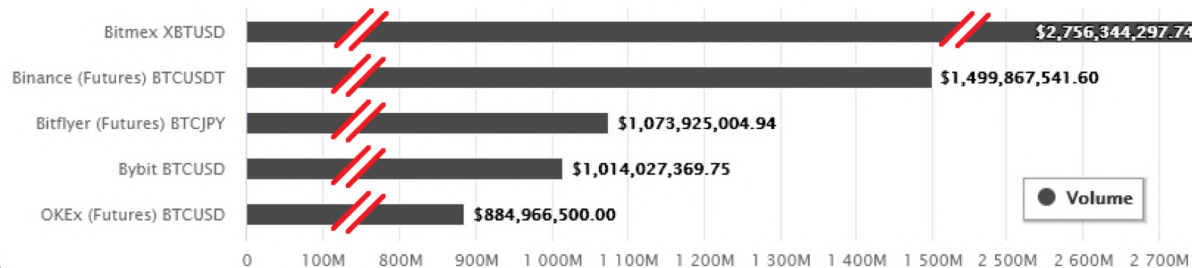
19年12月には平均して1日1300億円相当のOpen Interest (OI) と1兆円以上の取引高を誇り、BTC無期限契約は仮想通貨デリバティブトレーダーに最も人気の商品です。

Open Interestでは、BitMexはリーダーの座を堅持しており (52%)、Bybit (12%) が追いつくにはまだ大きな壁があると言えます。

Bitcoin (Perpetual) by 24h Open Interest



Bitcoin (Perpetual) by 24h Trade Volume



BitMEXはまた取引高においてもリードしており、全体の30%ほどの占有率を誇っています。Binanceが17%で追いかける形となっています。

その他のプラットフォーム (Binance, OKEx, Deribit, Bybitなど) が継続してイノベーションを起こしていくと、BitMexのPerpetual Swap 取引高のシェアにどこまで食い込めるかに注目です。

トップ5 市場規模シェア & 価格の安定度

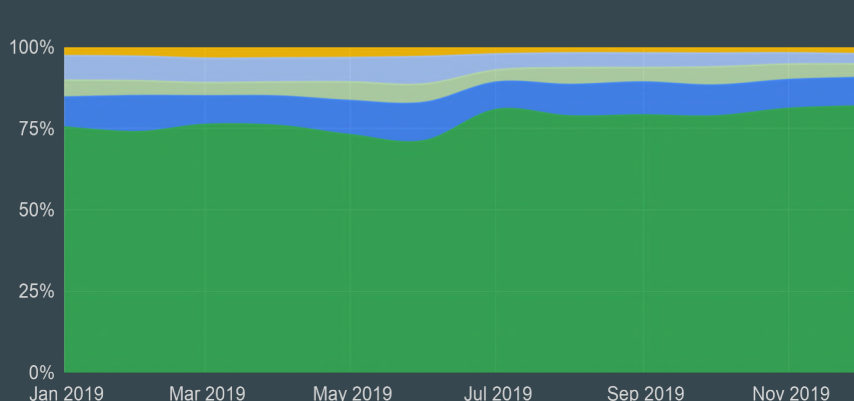
ステーブルコイン市場規模占有率

Tether (USDT)がドル担保割れの疑惑や報道にも関わらず、2019年もステーブルコインの市場で圧倒的な存在感を維持しました。

Tetherは2019年に時価総額シェアを拡大した唯一のステーブルコインでした。

TrueUSD (TUSD) が最も大きく時価総額シェアを落とし、Paxos Standardに8月に逆転されました。Gemini USDは大きく規模を落とし、トップ5のステーブルコインから外れました。

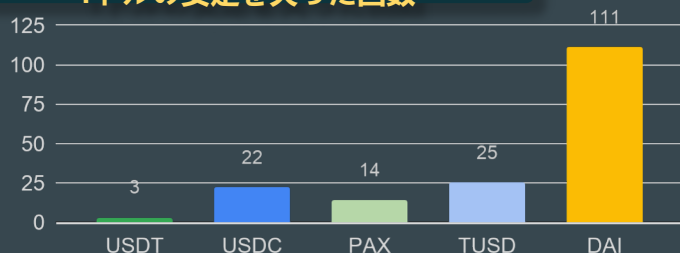
2019年に同様のトレンドは取引高にも見られました。TetherはEthereumのERC20とTronのTRC20のトークン利用が大きく成長しました。



2020 (vs 2019)

	USDT	82.0%	(+6.5%)
	USDC	8.7%	(-0.5%)
	PAX	4.2%	(-1.0%)
	TUSD	3.1%	(-4.4%)
	DAI	2.0%	(-0.6%)

ステーブルコインが1ドルの安定を失った回数



1ドルから1%以上の価格乖離を価格安定 (Peg) の失敗と定義します。

全てのステーブルコインの内、DAIが最も価格変動が激しく、19年中に111回価格の安定を失いました。一方USDTが最も安定したステーブルコインで安定を失った回数は3回でした。

ステーブルコインの価格安定を保つ能力と全体的な流動性の間には大きな相関があります。DAIを取引できる市場は最も少なく、取引高も最も低いです。(PAXの100分の1、USDTの12,000分の1)

2019年の振り返り

買収と投資

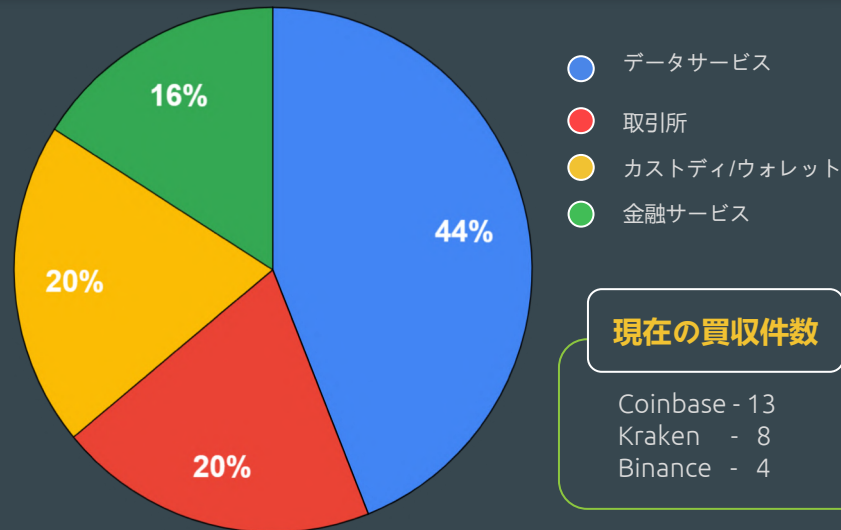
買収

仮想通貨業界では2013年から350以上の買収が実行され、4000億円以上の規模になっています。

私たちは業界の最大の買収先の3社、Coinbase、Kraken、Binanceについて詳しく調査し、買収事例をセクターごとに分類しました。

買収が最も集まっているのは、クリプトデータサービス（44%）で、取引所とカストディ/ウォレットサービス（20%ずつ）が続きます。金融サービスは16%に留まりました。

最近観測される興味深いトレンドはデリバティブ取引所の買収です。BinanceによるJEXの買収、KrakenによるCryptoFacilitiesの買収が特に顕著です。



投資

買収の他に、CoinbaseとBinanceは仮想通貨業界の多くのセクターに戦略的投資を行っています。Coinbaseは40の異なるブロックチェーン企業に投資をしており、ブロックチェーンエコノミーのほぼ全ての領域をカバーしています。 Binanceも同じくほぼ全ての領域に手を付けており、Binance Labsに支援されているプロジェクトを始め、FTX（デリバティブ）、Mars Finance & Zhi Dian（ソーシャルメディア）などにも投資をしています。

トップ8クリプトプロジェクト買収

順位	日時	買収元	ターゲット	セクター	金額 (\$m)	ターゲット国
1	2018/02	Circle	Poloniex	取引所	400	アメリカ 
2	2018/10	Bk Global Consortium	Bithumb	取引所	350	韓国 
3	2018/07	Tron	BitTorrent	P2Pファイル共有	126	アメリカ 
4	2018/04	Coinbase	Earn.com	ブロックチェーンサービス	120	アメリカ 
5	2019/02	Kraken	Cryptofacilities	取引所	100	イギリス 
6	2019/01	Go-Jek	Coins.ph	カストディ/ウォレット	72	フィリピン 
7	2019/08	Coinbase Custody	Xapo	カストディ/ウォレット	55	アメリカ 
8	2018/04	Money Group	Coincheck	取引所	33	日本 



First they doubt it. Then they join in.



Ernst & Young (EY)

EYは政府の透明性向上を助ける為に、ブロックチェーンを採用した金融トラッカーツールをローンチしました。

EYはまたブロックチェーン関連の分析を専用ページに公開しました。

J.P.Morgan

JPMorgan Chase (JPM)

2017年に、JPMのCEO Jamie DimonはBitcoinはダメと宣言しました。そして、2019年5月に独自のブロックチェーンを再起動させ、JPMCoinの実験を6月に始めました。

JPMはまたブロックチェーンとDLTのページに分析を公開しました。

Bakkt

Bakkt

ICEに2017年に最初にアナウンスされたBakktは伝統的なマーケットにビットコイン先物取引を提供しています。

Bakktは現在の現物決済のオファーを拡大し、シンガポールでの現金決済BTC先物の提供を計画しています。また、個人投資家向けのアプリのローンチを予定しています。



Nike

Nikeはブロックチェーンベースのスニーカー“CryptoKicks”の特許を保有しています。特許は、ブロックチェーン上のアセットに紐づいたユニークなIDを持った靴です。また、Crypto Kittiesのような要素もあり、複数のアセットを融合することで新しいスニーカーを作成することが出来ます。



Square

Squareはビットコインと仮想通貨のエコシステムへのオープンソース貢献による一般浸透を目指した取組みをローンチさせました。

彼らはGoogleやLibra、Lightning Labsから開発者を採用し、BTCPay財団に1000万円以上を寄付しました。



Rakuten

日本の巨大E-commerceサイトの楽天はRakuten Walletで新しい仮想通貨取引所を開設しました。

楽天はまず「みんなのビットコイン」を買収し、日本でのライセンスを取得しました。さらに、CypherTraceとパートナーシップを結び、コンプライアンス対応を強化しています。

2020の見通し

ブロックチェーンの
次のステップは？

2020の見通し DeFi

私たちはDeFiはすでにファイナンスセクターを再定義（reDefining）し始めていると考えており、2020年には1000億円以上の価値がエコシステム内にロックアップされると予想します。以下は2020年に私たちが期待することです！

サービスの拡大

現在のDeFiエコシステムの大部分はレンディングとトレーディング関連ですが、今後はスマート債権、金利スワップ、分散オプションマーケットなどがローンチすると考えられます。

DAOの興隆

Decentralized Autonomous Organization (DAOs)がDeFiエコシステムの分散化の実現を推し進めます。私たちはSynthetixやKyberのように複数のプロジェクトがこの機能を実装すると予想します。

指標金利



DeFiマーケットにはまだ伝統的市場で使われるロンドンインターバンクレートのようなレファレンスレートが存在しません。DAIのセービングレートがベンチマークの候補として受け入れられるのではないかと考えています。

規制



DeFiは規制の承認なしで機能するため、規制はDeFiには必要ないと主張する声もありますが、クリプトに友好的な規制は特に主要な仮想通貨マーケットでDeFiの成長に大きく貢献します。

2020 予測 期待すること



Matthew Tan
Founder & CEO, Etherscan

2020は今までの年と同じように、予想外のサプライズや挑戦、良い面悪い面両方に満ちているだろう。プロダクト開発の面では、仮想通貨シーンにはサイクルが見られ、現在のDeFi周辺のテーマと盛り上がりは今年も継続すると予想する。また、ETH2.0、Polkadot、Cosmosなどのマルチチェーンプラットフォームの具体化やより多くの活動が起きるだろう。

スケーラビリティやUXなどの課題は新規ユーザー獲得の障壁として継続して存在する一方、より厳しい規制はクリプト関連企業の今まで通りのコンテキストでの運営を難しくする。



Taylor Monahan
CEO, MyCrypto

2020は仮想通貨にとって重要な道筋の転換点になるでしょう。初期に見られた哲学や理想を維持するのか、政府や企業に取り込まれ、腐敗するかです。



Jeffrey Zirlin
Co-founder, Axie Infinity

1. 2020はモバイルにフォーカスしたブロックチェーンゲームの躍進の年になる
2. ユーザーの参加に報酬を与える「Proof of engagement」というレベシェアモデルの実験をDappsが始める
3. 消費者向けのDappsがDeFiプロトコルとのユニークなインテグレーションを通し、価値を強める



Tim Ogilvie
Co-founder & CEO, Staked

EthereumがEH2.0への移行のPhase0のローンチを成功させ、Phase1に向けて大きな進歩を見せると考えている。



Mark Lamb
CEO, CoinFLEX

2020年にはデリバティブ取引高が急激に増加し、トレードと投資の機会も大きく広がることになるだろう。ベシスの激しい価格変動は引き続き、新しい資本のデリバティブマーケットへの流入が起る。



Gauthier Zuppinger
Co-founder, NonFungible.com

1. NFTのインフラ、ツール、プラットフォームは大きな投資のフォーカスになる
2. 強いプロダクトと価値を持った弱小プロジェクトが、ブロックチェーンハイブに乗っかるだけの資金に余裕のあるプロジェクトからマーケットシェアを継続して奪っていく
3. NFTに直接関係のないステークホルダーが増えるだろう。Coinbaseのようなプレイヤーがより多くの実験的プロダクトやイベントローンチする。



Sandeep Nailwal
Co-founder & COO, Matic Network

レイヤー2が2020年に現実になり、Ethereumの大きなスケーラビリティを可能にし、「新型」ブロックチェーンを不要なものにするかもしれない。このスケーラビリティはDappsを現在の集権的なアプリケーションと競争可能なレベルにし、ついにDappsのキラアプリが出現するかもしれない。



Dr. Long Vuong
Founder & CEO, TomoChain

BitcoinとDeFiは成長を続け、伝統的な金融プレイヤーがクリプト企業との協業を始める。全体を通して、2020は比較的安定した年になるだろう。また、ブロックチェーンゲームでCryptoKittiesのようなブレイクスルーが起こり、コミュニティを興奮させる。

2020 予測 期待すること



TM Lee
Co-founder, CoinGecko

2020年にはDeFiの成長は継続し、Ethereumだけでなくその他のプラットフォームでより多くのDeFiサービスが生まれる。多くのDeFiサービスが市場に存在することで、それらのDeFiをまとめ、互換性やUI/UXを向上させるアグリゲーションサービスが登場するだろう。それらがより広い利用やユーザーにとってのポテンシャルの向上につながる。



Justin Sun
CEO, Tron & BitTorrent

1. PewDiePieのようなクリエイターがDLiveのような分散プラットフォームに移行することで、コンテンツエコノミーで革命が起きるだろう。コンテンツクリエイターとユーザーが共にクリエイティブティや参加のリワードを受け取れる民主的なコンテンツプラットフォームが盛り上がるだろう。
2. また、紙を利用した記録管理の必要性を取り除くことで、ブロックチェーンは二酸化炭素排出の削減にもインパクトを与えるだろう。



Ben He Bin
CEO, imToken

既存金融の世界のコンセプトを改善、進化させた資本マーケットと共に、ブロックチェーンのコンセプトはよりユーザーフレンドリーになるだろう。

まとまりにかけけるオープンソースブロックチェーン界限とスケーラビリティ問題、規制関連の先行きの不透明さは東アジアの業界にとって障壁として残るだろう。

それにも関わらず、特にDexとレンディングセクターはプロが更なる実験を重ねることでDeFiの急速な成長は続くだろう。より安定して強力な金融プロダクトが持続的に生まれることで、より多くのユーザーが（アーリーアダプターでさえも）惹きつけられていくだろう。



Bobby Ong
Co-founder, CoinGecko

強いDeFiの成長が続くことを期待している。Ethereum上でロックされるDeFiアプリの価値は1000億円を超え、100以上のDeFiサービスが今年末までに現れる。また、Ethereum以外のプラットフォームにもこの動きは広がるだろう。同時にDeFiのリスクについても思い起こされることになり、最低でも一つのDeFiアプリがハックされても驚かない。これらのリスクを軽減するため、DeFi保険、デリバティブなども育っていくだろう。



George Cao
CEO, BitMax.io

2019年に多くの大手取引所がより包括的なサービスやプロダクト提供を目指し、デリバティブ、カスタディソリューション、レンディング、ステーキングなどの現物市場を超えたカバレッジを提供するようになった。このトレンドは2020年も続くだけでなく、むしろ加熱していき、個人投資家と機関投資家共にトップティアの一部の取引所に集中していくと考えている。

業界のキープレイヤーが現状維持から大きく離れ、ハイリスクのイノベーションを起こしていくとも必ずしも思わず、その代わりに大手プラットフォームは既存のビジネスモデルの差別化を狙った戦略を追及し、急速に変化する規制環境に対応するために多くのリソースを割くことになる。



Guy Corem
Board of Director, Beam Foundation

2020はプライバシーとDeFiが融合する年になる。パーミッションレスで高プライバシーなステーブルコインが登場する。また、プライバシーブロックチェーンと既存の非プライバシーチェーンのブリッジと相互互換性も出てくる。2020年はまたサイドチェーンがついに離陸する年にもなり、シンプルで安全な形でベースレイヤーの機能を拡張する方法となる。



期待すること



Viktor Radchenko
Founder, Trust Wallet

歴史的に見て、通常一つのキラーアプリが全ての扉を開き、一般浸透が加速する。個人的にDeFiがこの次のキラーアプリになる高いポテンシャルを持っていると考えているが、UXを改善する必要がある。インセンティブと直接的なネットワーク参加により、分散化された形でコミュニティ構築と全体のネットワークの安定に貢献するだろう。

DeFiスペース内ではより多くの実験が起るだろう。上手くいくものもあれば、行かないものもあるだろうが、全体を通して仮想通貨の一般化には非常にポジティブな材料と言える。



Samson Mow
Chief Strategy Officer, Blockstream

Liquid Network上のアセット数とL-BTCは引き続き増加する。一部のトークンは証券トークンとなり、より多くの人気と注目を集め始めるだろう。また、Lightning Networkがさらなる広がりを見せるが、プライバシー機能の改善によりチャネル数やキャパシティなどの数値はむしろ下がる可能性がある。



Benedict Chan
CTO, BitGo

2020年の前半は下落相場が続き、業界全体の統合がより明確になるだろう。大手のプレイヤーは次の上昇相場（ブルラン）に向けて準備を整える年になり、戦略的なタレントやテック買収が進むだろう。トラベルルールの締切が2020年の6月に迫る中、ステーブルコインの規制、アメリカとその地域間でのトークン、企業、場合によってはエコシステムそのものの分岐が始まる可能性がある。

今年の半減期がビットコインSoV理論のきっかけになることを望んでいる。これと、仮想通貨デリバティブ、プライムブローカレッジ、DeFiの成長のポテンシャルは非常にエキサイティングな年を運んでくれる可能性がある。



Alexandre Dreyfus
CEO, Chiliz

2020は多くのM&Aが起る年となるでだろう。プロトコルレイヤーで同様の動きがあることも望む。また、いくつかのM&Aはトークンベースのクリエイティブなものになるかもしれない。多くの取引所は資金が尽き、倒れていくだろう。

まだ不安定で証明されていない業界の中で、規制はイノベーションを阻害するだろう。多くのイノベーションと成長はアジアやその他の途上国から生まれると思う。アメリカとヨーロッパはユーザーや企業のエクスペリエンスを屈けることより、政治の話が中心になってしまうだろう。



Joon Ian Wong
Managing Director, CoinDesk

1. MolochやMetaCartel DAOsやOpenLawなどの上で、新しいDAO構造が公共財、ジャーナリズムやその他の共同財の資金調達の方法を再定義する。
2. 中央銀行、もしくは巨大企業のデジタル通貨がローンチする。最初は緩やかな移行になるが、世界の金融システムの再編に向けたスタート地点になるだろう。



Hiroyuki Mihara
COO, BitBank

日本の仮想通貨取引所は大きなハードルに直面する。コンプライアンスコストの増加と、売上の低下により中小規模の取引所は統合か、閉鎖の選択を迫られるかもしれない。一方、レバレッジ率が2倍に引き下げられたとしても、計画されているCFDの規制後はより多くの証券会社が仮想通貨業界に参入し、業界は盛り上がるだろう。



Asher Tan
CEO, CoinJar

DeFiレンディングプロジェクトの人気の高まると共に、批判の声も大きくなるだろう。ユーザー数の爆発的な成長は期待していないが、クリプトクレジットで良い体験を感じたユーザーはリピーターユーザーになっていくだろう。

知っていましたか？

ビットコインに関する 事実

ビットコインの10年

CoinGecko



「魔法のインターネットマネー」の10年！



Bitcoinの今までの10年を定義するデータ

34,100

2019年までのGoogle Scholar上の“Bitcoin”の言及回数 2009年にはわずか309だけでした。

\$90,000

もし2010年にビットコインに1ドルを投資していた時の現在の価値。

6,500+

現在存在する仮想通貨の数 CoinGeckoで追跡していないものと多くの仮想通貨もあるはずです。

18,155,975

2020年1月時点でのビットコイン市場流通量。2100万BTCが最大供給量

3,241

仮想通貨関係の企業数。ビットコイン誕生から業界は大きく成長しました。ありがとうサトシ！

~19,000

CoinGeckoでカバー中のビットコイン取引ペア数

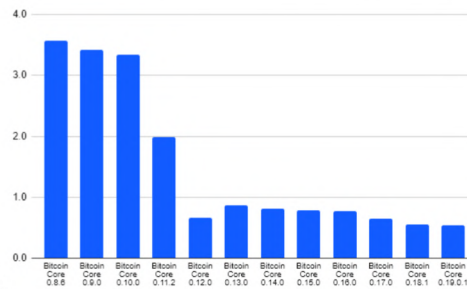
1,457%

2015年からの関連する仕事の成長率。ビットコインは全く新しい業界を創り出しました。

ビットコイン開発者へ



Figure 1 - Bitcoin Initial Block Download Time (Days) - Average Of 3 Attempts



6倍速く

ビットコインフルノードの同期にかかるスピードは、6倍以上速くなりました。

BitMEXチームによれば、様々な改善なしではビットコインノードの同期は ほぼ不可能に近くなっていた そうです。ありがとうございます、ビットコイン開発者たち！

イベントの要約



11+ 年

そして今も力強く続いています。業界にしばらくいる人にとっても、こちらはビットコインの10年を振り返る良いまとめです。クレジットは作者に！

Stacking Satoshi (Sats)-Satoshiを貯めよう 興味深い事実



知らな
かった! ?

積立
\$5/日
since 2014

15.55
積み立てた Bitcoin
(BTC) の合計枚数

\$10,795
合計投資金額

\$124,375
保有ビットコイン
の価値

11x
およその **平均投資リターン**
(今のビットコイン価格 \$8k)

Stack Sats

Build your Bitcoin Stack!

With \$ 10 today	You'll be stacking 120,180 sats / day	Stack for 5 years	You'll have ฿2.1933 \$18,250	Assuming Bitcoin is \$ 8000 in the future
------------------------	--	-------------------------	---	---

With \$17546, You can buy a car!



Made with ❤️ from 

 Share it with a friend!

2017

最も投資効率の良い年。
~638%のリターン

今日

積み立て始める
次の絶好の日! ?



「Stack sats」とはビットコイン (BTC) を一定期間継続して買い集める行為を指します。私たちはどれくらいBTCを積み立てられるか計算できる便利なツールを作りました。 [Check it out!](#)

2020の見通し 重要イベント

2020の見通し 重要イベント



Bitcoin半減期

2020年5月24日推定
(ブロック #630,000)

Bitcoinのブロック報酬は12.5から6.25 BTCへ半減します。

半減期を重ねることで、ビットコインはより希少になります。すでに市場価格に織り込み済みかどうかに関わらず、ビットコイン半減期は歴史的に重要なイベントです。



Calibraローンチ

2020年 中推定

FacebookのLibraのCalibraウォレットのローンチが2020年中に予定されています。

Libraは17億人の銀行へのアクセスがないユーザーへ金融サービスの提供を狙いますが、規制当局からの反発が進行を遅らせています。



Ethereum 2.0

2020年中想定

複数フェーズに分けられたProof of Stake (PoS) への移行を含むEthereumの一連のアップデート。

Eth2.0はEthereumをより速くスケーラブルにすると公約しており、Dappsの改善と一般浸透に必要な改善となります。



Consensus: 2020

New York, May 11-13, 2020

業界全体が集う毎年恒例のブロックチェーンサミット。

2015年にスタートし、Consensus by CoinDeskは直近1年を中立な立場から振り返り、次の1年を議論するイベントです。



Devcon 6

Buenos Aires, 2020

Ethereum財団主宰の2015年から毎年開催されているイベント。

Devconには開発者、リサーチャー、リーダーなどが一挙に集まる。大きなアナウンスや進捗アップデートが期待できる。



中国の DCEP

2020年 中想定

中国の中央銀行によるコイン (Digital Currency Electronic Payment) のローンチ。

ビットコインや仮想通貨とは直接的には関係ないが、中国のDCEPのローンチはLibraがしたように仮想通貨の露出や証明につながるでしょうか？

Ethereum

ETH 2.0への道

なぜ必要？ Ethereum2.0とは？

Ethereumの課題

キャパシティ限界 > 95%



Ethereumネットワークは現在95%以上のキャパシティ率で稼働中

15トランザクション/秒

Ethereumがワールドコンピューターになるには、秒間数千以上のトランザクションを処理する必要があります

遅い



Vitalik Buterin
Founder, Ethereum

Ethereum 1.0は数人の開発者によるワールドコンピューターを目指したちぐはぐな試みだった。Ethereum2.0こそ真のワールドコンピューターになるだろう。

Ethereum 1.0 (現在)



Ethereumネットワークの全てのノードが全てのトランザクションを処理し、ブロックチェーンの全てのステートを記録しています。

すでに実効的に稼働している一方、全てのノードが常にブロックチェーンの全ての記録と同期をする必要性が、現在の技術ではブロックチェーンの処理性能の制約になってしまっています。



Ethereum 2.0のシャーディング



シャーディングとは計算資源の複数グループへの分割を意味します。それぞれが特定のタスクを実行し、全体でより高いスループットを実現します。

Ethereum 2.0では、トランザクション処理とデータストレージは独立した別々のシャードに委任されます。

各ノードは全体のシステム負荷の一部だけ負担すればよく、全体のスループットとスケーラビリティが向上します。



Ethereum 2.0 の解説

簡単に言えば

Mine blocks & secure network   

Ethereum 1.0
(Proof of Work)



Deposit 32 ETH

Emits event to the
Beacon Chain to
register validator



Beacon Chain
(Proof of Stake)

Shard Chain #1

Shard Chain #2

...

Shard Chain #1024

Execution
Environments

EVM

Ewasm

Phase 0
(Q1 2020)

Phase 1
(2021)

Phase 2
(2022)

Eth 1.0 & Eth 2.0 

- Eth 2.0はフェーズに分けられた別のチェーン
- Eth 1.0ブロックチェーンは並行して稼働。既存のスマートコントラクトは2.0とは適合しない可能性。

Phase 0 (Q1 2020)
Beacon & Staking 

- Eth 1.0ホルダーは、コミットメントとして32ETHをStakingコントラクトにデポジットする。(利益率推定チャート)
- スターカーはCasper Proof-of-Stakeを通してBeacon Chain上のブロックを承認。
- Beacon Chainは単体では特に何もしない。トランザクション生成はまだ出来ない。

Phase 1 (Q1 2021)
シャーディング 

- スケーリングを実現するために、複数のチェーン（シャード）がデプロイされる
- Eth1.0のように一つのチェーンに依存するのではなく、計算負荷は複数のシャードに分散される
- Beacon Chainは全てのシャードに「方向」を指し示し、シャードの同期の維持とシャード内の整合性を保つ。

Phase 2 (2022)
Execution Env. 

- トランザクション、トークン、スマートコントラクトが可能
- Ethereum 2.0がついにローンチ準備完了

Proof of Stake (PoS)

ステーキ (steak) 
ではありません

Proof of Stakeとは？

Proof of Work (PoW)		Proof of Stake (PoS)	
	マイナーは計算問題を繰り返し解決し、ネットワークを守る	What is it?	ステーキングは暗号資産を利子獲得の為にロックアップし、ネットワークを守る 
	Proof of Workはマイニングの為にハードウェアの購入が必要になる	What's needed to start?	Proof of Stakeはステークする為にコインの購入が必要になる 
	Proof of Workの報酬は最も早く計算問題を解決したマイナーに与えられる	How are validators incentivized?	Proof of Stakeはバリデーターのコインのステーク量に応じて、誰が次のブロックの生成をするか決定する 
	BTCのネットワークは <u>スイス</u> と同程度の電力を利用して守られている	Electricity consumption	Proof of Stakeは計算の繰り返しを必要としない為、PoW程電力を必要としない 
	ETHは現在秒間15トランザクション程に対応 (vsビットコインの7tx/秒)	Scalability (In ETH's case)	Proof of Stakeにより、Ethereumの <u>スケーラビリティの改善</u> が期待されている 
	フォーク発生時は、専用のハードウェア (ASICs) が不要になってしまうリスク	Security (In terms of attacker's liable assets)	もしバッドアクターと認識された場合、自分の保有コインが没収されてしまうリスク 

分散金融 (DeFi)

Bank the Unbanked

分散金融 (DeFi) なぜ重要か？

現在の金融システム(集権化)



およそ世界の4分の1 (17億人) は金融へのアクセスがありません。資産マネジメントツールへのアクセスも限定的です。



平均して国際送金には~6.8%* の手数料がかかり、着金まで3ビジネス日が必要です。



悪意のある人物や団体がシステム全体をダウンさせることができる中央集権リスク - 2008年の金融危機やベネズエラのハイパーインフレーション



口座の凍結やサービス拒否、取付騒ぎなどの銀行からの検閲/差別

分散金融



国際的な金融サービスへのより広範なアクセス - 携帯電話とインターネットさえあれば誰でもアクセスが可能に



格安で高速な国際送金 - 場所に問わず平均してETHは2円、20秒以下で送金が可能。



低い参入障壁と摩擦は全てのユーザーに多様なアセットクラスへのアクセスを可能にします。
- より良い流動性、選択肢とポジションを提供します。



検閲耐性 - 全てのエンティティは、社会クラスやクレジットヒストリー、政治的信条に関わらずコードにより平等に扱われます。



DeFiの狙いは、より効率的な金融市場を作ることと言えます。

* <https://remittanceprices.worldbank.org/en>

* <https://globalindex.worldbank.org/>

* <https://ethgasstation.info/>

分散金融 (DeFi) 成長率



現在人気のDeFiユースケース

貸出 (2.81m ETH)

伝統的なプラットフォームと比較して、はるかに摩擦の少ないパブリックチェーン上の借入/貸出

デリバティブ/アセット (\$170m USD)¹

その他のアセットのデリバティブである合成アセットは、実際のアセットの保有なしでポジションをとることを可能に

分散取引所 (126.702k ETH)

トレーダーは資金のカストディを持たないプラットフォーム上で安全に取引

ペイメントソリューション (863.01 BTC)²

伝統的に集権的なペイメントソリューションは分散化させることで、検閲耐性を保ったままより効率化することが出来ます



DeFiの成長

Locked (ETH)

3.1M
(\$701.1M)³

Maker Dominance

55.58%

ETH Locked in DeFi

TVL (USD) | ETH | BTC | DAI

All | 1 Year | 90 Day | 30 Day | 7 Day



ALL

LENDING

DEXES

DERIVATIVES

PAYMENTS

ASSETS

DEFI PULSE	Name	Chain	Category	ETH ▼	1 Day %
1.	Maker	Ethereum	Lending	2.4M	1.1%
2.	Compound	Ethereum	Lending	374.7K	1.3%
3.	InstaDApp	Ethereum	Lending	323.5K	4.0%

DeFiセクターでの成長は、エコシステム内にロックされたETH量で測ることが出来ます。最も人気のカテゴリは貸出とデリバティブです。



知って
ますか？

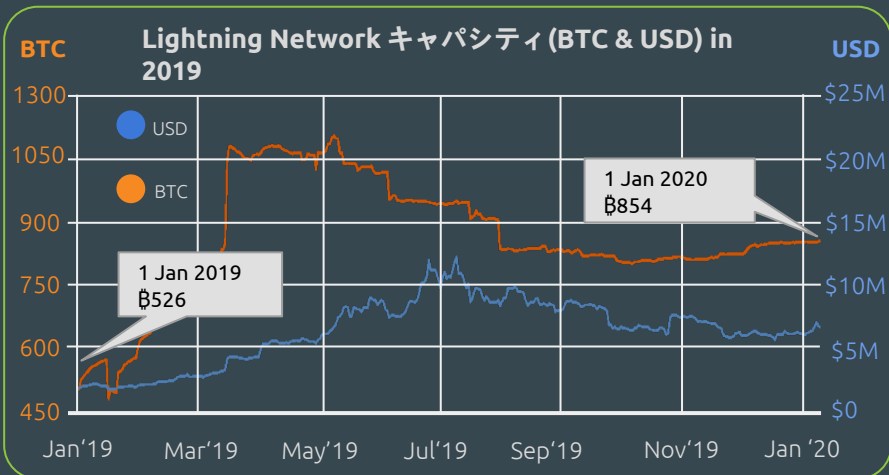
エコシステム内にロックされたETH金額は2019年に200万ETHから310万ETHまで増加しました。(>\$160M!)

[1] ~130m USD worth of Assets are locked in SNX

[2] BTC is used for Lightning Network

[3] \$USD value includes BTC, DAI

2019 Lightning Network統計 ⚡

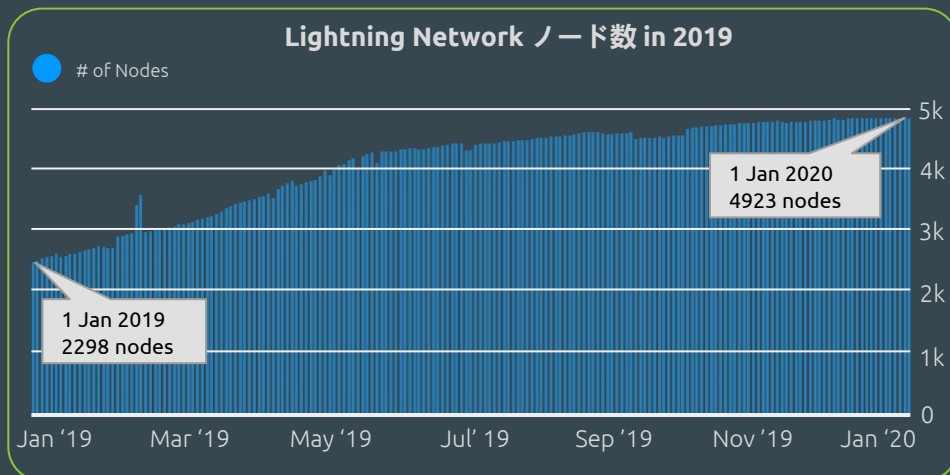


⚡ +62% ⚡

LN BTC キャパシティ 増加 in 2019

LNにロックされたBTCは19年5月に฿1100程でピークに達しました。しかしそこから少しずつ減少を続け、19年末には฿850程で落ち着きました。

興味深いことに、LNにロックされたBTC数は年末に向けて価格との相関が小さくなってきているように見えます。



⚡ +114% ⚡

LN ノード数増加 in 2019

2019中にLNのノード数は2倍以上に増加しました。ただし、成長の大部分は去年の前半に起きたものです。中盤以降成長のスピードは大きく減少しましたが、微増を続けました。



分散アプリ (Dapps) 市場概観

in collaboration with



分散アプリ (Dapps) 2019 概要 - 全体



カテゴリー	⌘ All	💎 ETH	🔥 EOS	🔥 Steem	📦 TRON	📦 IOST	📦 Neo
Dappsの合計数	2,989	1,822	493	92	520	38	24
アクティブDapps数	2,217	1,129	479	80	482	32	15
新しいDapps	1,445	690	260	34	411	38	12
アクティブユーザー数	3,117,086	1,427,093	518,884	120,560	967,185	27,871	55,493
新しいユーザー数	2,769,070	1,289,831	399,416	60,123	947,775	27,871	44,054
トランザクション	3.26B	24.52M	2.81B	85.72M	290.28M	47.10M	2.27M
取引高 (ネイティブトークン)	—	12.64M ETH	1.40B EOS	84.83M STEEM	142.44B TRX	12.53B IOST	410.33K NEO
取引高 (ドル)	\$10.90B	\$2.37B	\$4.98B	\$29.02M	\$3.41B	\$114.34M	\$1.01M

2019 四半期ごとのDapp統計

2,217 アクティブDapps, **3.12M** アクティブユーザー, **3.26B** トランザクション数, **\$10.96B** 取引高

Q1

Active Dapps: **1,536**
Active Users: **1,073,579**
Transaction: **355,611,233**
Volume: **\$3,637,022,637.86**

Q2

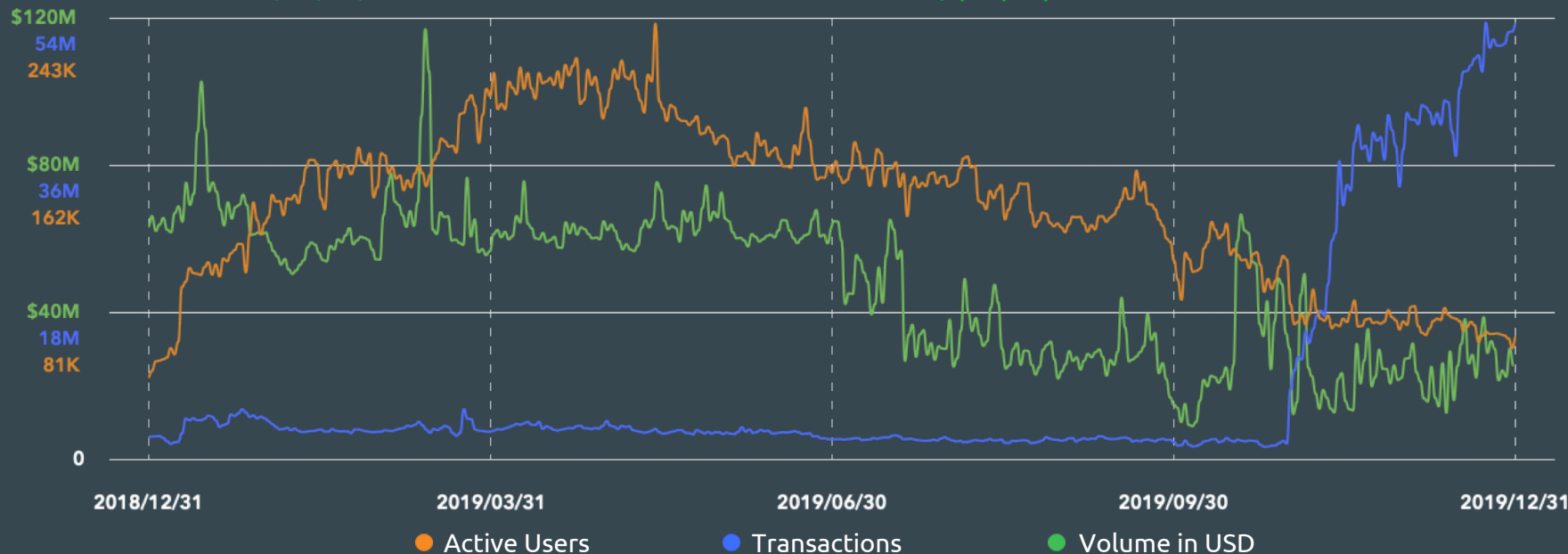
Active Dapps: **1,532**
Active Users: **1,267,312**
Transaction: **327,794,618**
Volume: **\$3,341,202,153.51**

Q3

Active Dapps: **1,406**
Active Users: **1,092,604**
Transaction: **225,070,642**
Volume: **\$2,185,833,531.01**

Q4

Active Dapps: **1,400**
Active Users: **878,590**
Transaction: **2,350,898,041**
Volume: **\$1,733,991,458.76**



分散アプリ (Dapps)

2019 Dappユーザー分析



カテゴリー	⌘ All	⬡ ETH	⬡ EOS	⬡ Steem	⬡ TRON	⬡ IOST	⬡ Neo
アクティブDappユーザー数	3,117,086	1,427,093	518,884	120,560	967,185	27,871	55,493
ユニーク Dappユーザー数 2019 New	4,630,105 + 2,769,070	2,330,260 + 1,289,831	572,441 + 399,416	579,418 + 60,123	1,019,993 + 947,775	27,871 + 27,871	100,122 + 44,054
ユーザーアクティブ度 2018年のデータとの比較	67.32% 109.36%↑	61.24% 78.24%↑	90.64% 199.89%↑	20.81% 68.84%↓	94.82% 1239.26%↑	100.00% —	55.43% 1.03%↓
メインネットアドレス数 2019 New	93,885,304 +34,849,866	83,932,227 +29,701,733	1,693,608 +1,061,608	1,350,000 +170,000	4,394,515 +3,261,492	344,183 +344,183.00	2,170,771 +310,850.00
アクティブメインネットアドレス数	n/a	n/a	1,060,976	n/a		97,663	603,048
Dappユーザー率%	4.93%	n/a	48.91%	n/a	—	28.54%	9.20%

分散アプリ (Dapps)



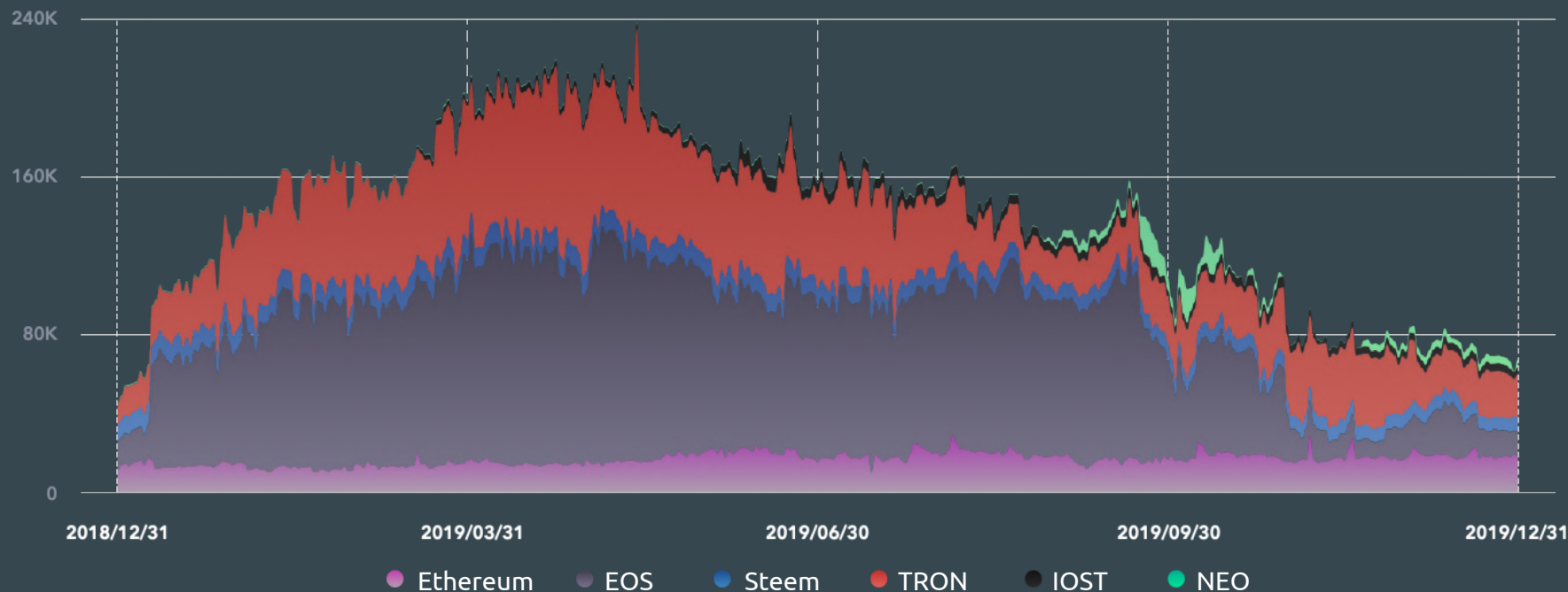
CoinGecko



アクティブユーザー数 by Blockchain

合計 **3,117,086** デイリーユーザー数:

Ethereum **1,427,093**; EOS **518,884**; Steem **120,560**; TRON **967,185**; IOST **27,871**; Neo **55,493**.



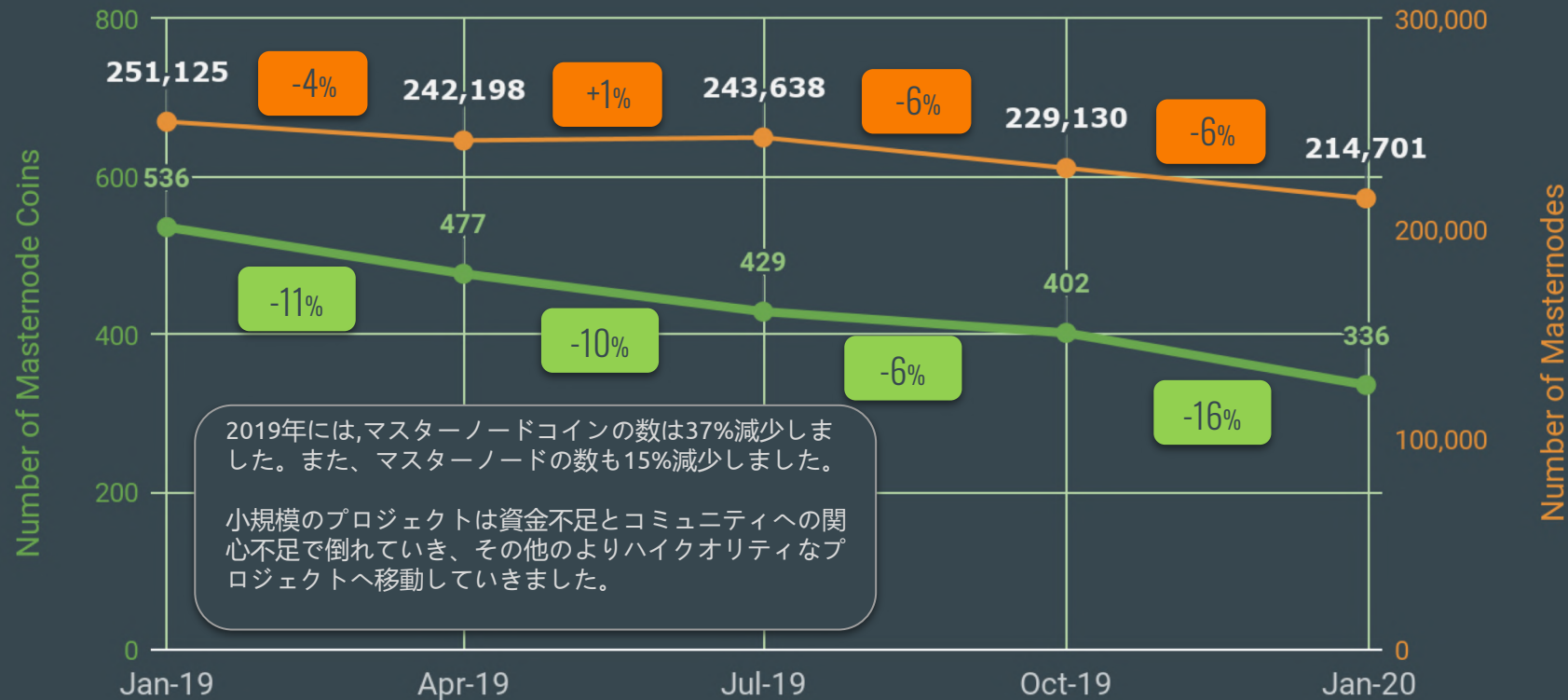
マスターノード 市場概観

in collaboration with



Masternodes.Online

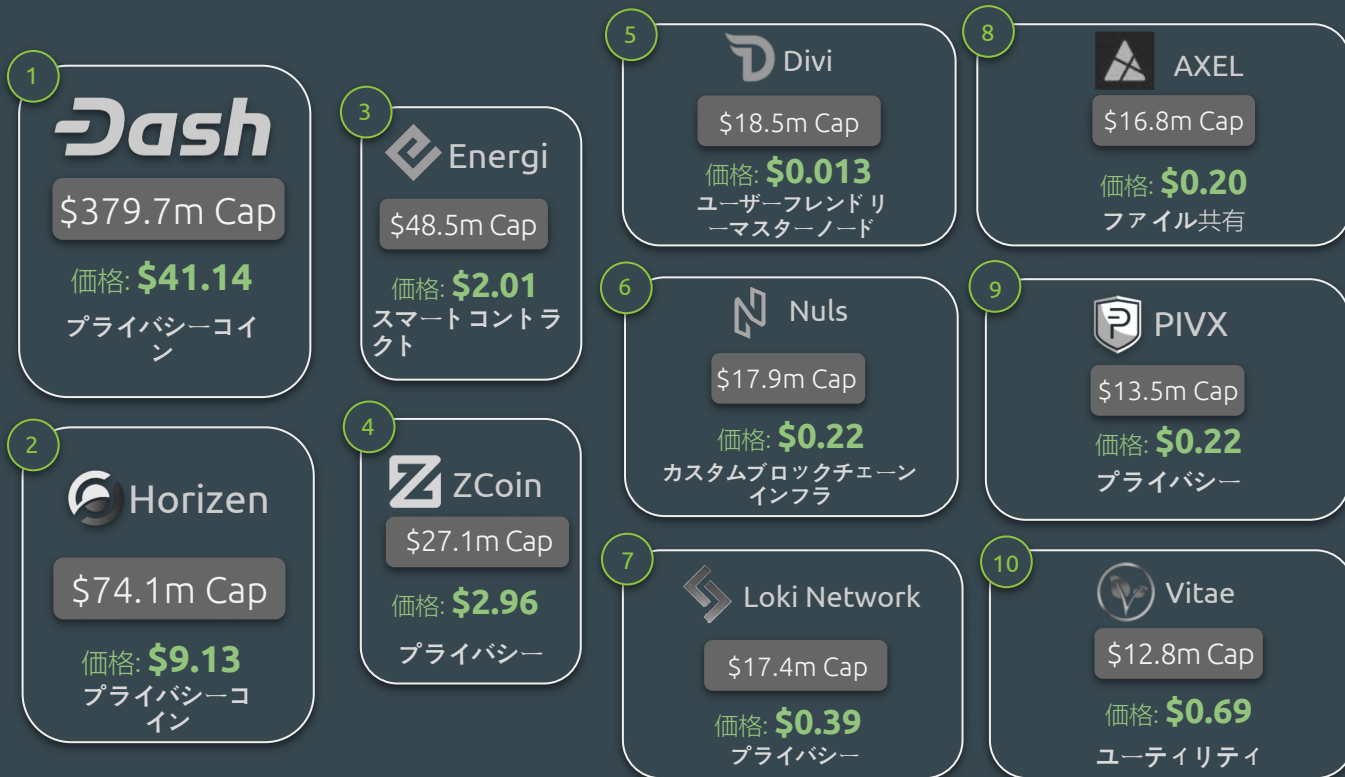
マスターノードとマスターノードコイン数



時価総額別トップ10マスターノード

トップ10のうち6つのマスターノードコインはプライバシーを強調しています。

年間では、Dashがマスターノードコインのトップの座を維持しました。
HorizenとEnergiは19年の終わりまでにそれぞれ2位と3位のポジションを取っています。





Non Fungible Tokens (NFT)

市場概観

in collaboration with



NonFungible.com

2019ユニークアクティブアドレス数

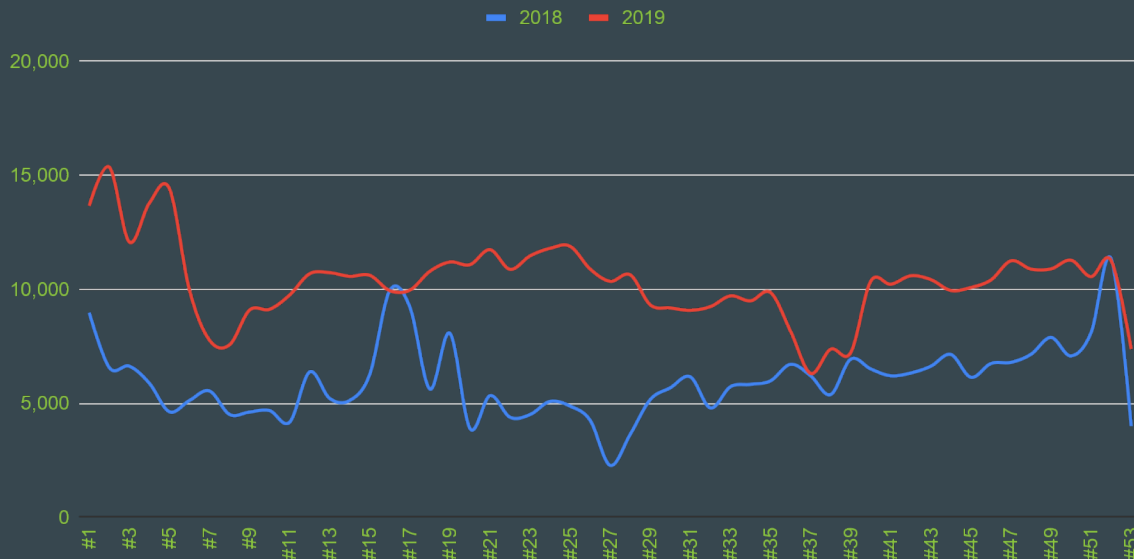
合計ユニークアクティブアドレス

105,000 107,000

2018

2019

イーサリアム上の週間アクティブアドレス数 2018 vs 2019



NFTのユーザーベースは2019年には大部分安定しており、前年比1.58%の増加です。2019年はNFTアセットの使用の密集化の年で、オンチェーン活動には大きな変化は見られませんでした。一方、コミュニティは2018年と比較してアクティブさを増していたことが観測できました。

2019 トランザクション数

合計NFTトランザクション
数

8,096,615

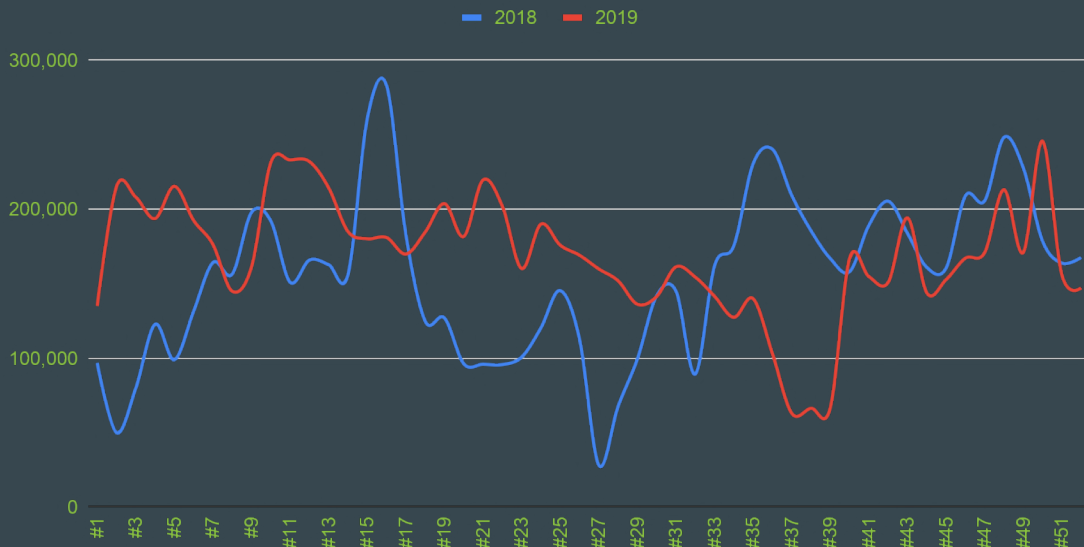
2018年

8,842,776

2019年

2019年のNFTトランザクション数は年間を通しておよそ10%増加。この緩やかな成長は2019年全体のNFTハイプの不在と安定化が一因と思われます。

マーケットの視点から言えば、NFTアセットの流動性はわずかに減少し、NFTアセットへの投機熱の鈍化を反映する形になりました。

イーサリアム上の週間 NFT トランザクション数
2018 vs 2019

2019 イーサリアムNFTコミュニティの内訳

2019 最大のコミュニティ



My Crypto Heroes

>50%

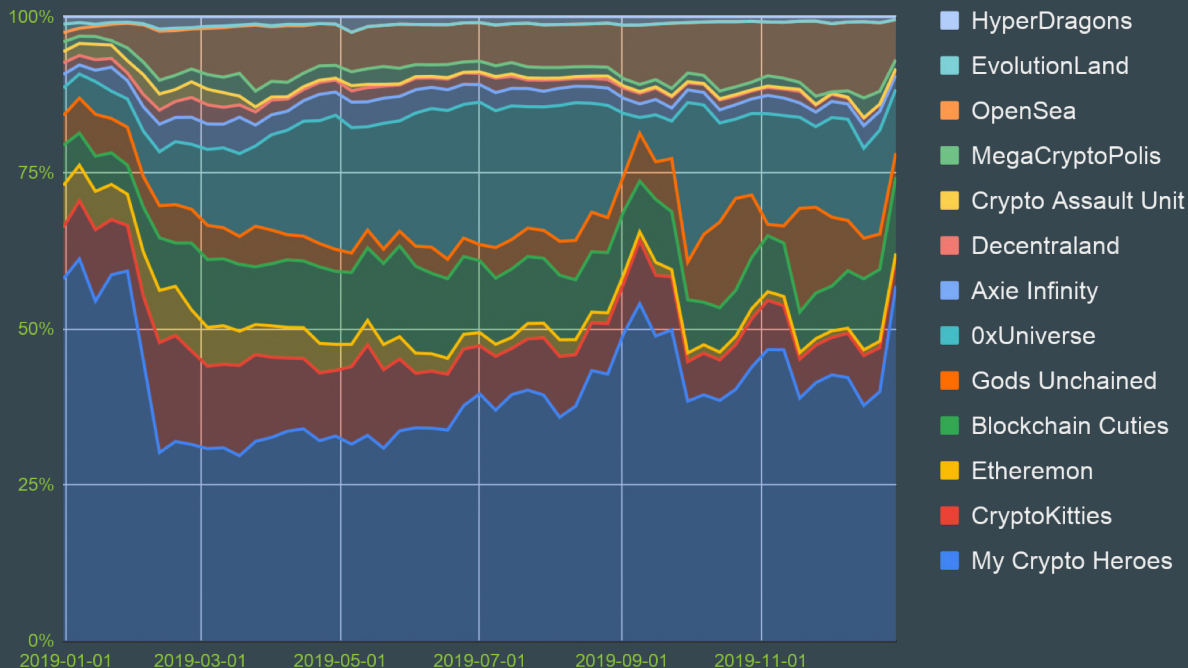
In 2019

2018年に圧倒的人気を誇ったCrypto Kittiesですが、19年にはその座を明け渡します。My Crypto Heroesは日本のマルチプレイヤーRPGで週に1万程のアクティブユーザーの獲得に成功しています。

全体では、Crypto KittiesとMy Crypto HeroesがNFTコミュニティの半分ほどを占めています。

0xUniverseは2019年の勝者の一人です。19年Q2以降多数のフォロワーを獲得しています。

NFTコミュニティ内訳(トップ13 NFTs)



Copyright © 2020 CoinGecko. All Rights Reserved. No part of this report is to be reproduced, copied, leased or howsoever used by the reader to provide advice to any other person or entity.

All figures, charts and graphs are based on data extracted from www.coingecko.com (which are derived from third party sources) unless otherwise stated.

Important Notice: While we have made every attempt to ensure our data and information are gleaned from reliable sources and presented in the most accurate manner, CoinGecko takes no responsibility for any errors or omissions, or for the analysis, reports and results as stated herein. All information in this report is provided "as is", with no guarantees of any kind, including without limitation, completeness, accuracy, and timeliness. All information stated herein reflects solely the opinion of CoinGecko as an aggregator of publicly available information, and does not in any manner constitute financial advice or other professional advice for which a licence is required. Nothing implied within this report should substitute the sound technical and business judgement of the reader who is advised to use discretion, conduct his/her own further checks, and seek professional advice before relying on any information herein. The presence of third party trademarks and brands herein does not indicate any association with or endorsement by CoinGecko of such third parties.

Follow Us





以上です！ 閲覧ありがとうございます。

短いアンケートに答え、ご意見ください！

 アンケート 